

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	19
事業名	文化財調査委員会経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	5
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援			
主要施策	③文化財の保存・活用				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民、町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	文化財の指定を通じて町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りをもち、まちづくりの意識を向上させる。
事業内容	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	調査委員会の開催回数	1	1	1	回	↑	2
2								
3								
4								
5								
		平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				35	35	-		
財源内訳	直接事業費 A				35	42	-	
	うち一般財源				35	42	-	
人件費 (千円) B				132	132	-		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.02	132	0.02	132	-	-
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	-	-

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 町民が、町の歴史や文化財に対する関心を高めるとともに、文化財保護意識の高揚を図り、地域ぐるみでの文化財を保護する施策について検討を進める。 郷土資料館の利用増について審議を行う。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 現委員を維持しつつ、新たな委員の確保と育成を図り、幅広い年齢層による発想と創造性を活かす、文化財の認知度を高める必要がある。 郷土資料館の魅力づくりを図っていく必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 文化財調査委員会において、指定文化財の現状把握を行った。 新たな委員の人材確保と育成を図ること、郷土資料館の利用増について検討した。 	④今後の改善計画	<p>文化財は地域に根ざした貴重な財産であることから、文化財調査委員会を活用し、郷土の文化財を学ぶ機会などを提供し、より多くの町民が文化財に対する理解と認識を図め、地域と一体となった保護活動ができるように努める。</p> <p>【R3に文化財保護経費へ統合】</p>